

防災・安全ニュース

VOL. 25

危機管理課

2025年5月号

電話：65-1282

先月23日から、今年の熱中症（特別）警戒アラートの運用が始まりました。昨年は、熱中症で2,033人の方がお亡くなりになっています。特に、乳幼児やお年寄りには周囲でも十分注意しましょう。

では、今月号もよろしくお願いいたします。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・ 災害時のトイレ問題
- ・ 水防月間（5月）
- ・ 小学生の交通事故
- ・ メイストーム（5月の嵐）

災害時のトイレ問題

災害時にトイレ問題が発生することが知られていますが、令和6年能登半島地震でも同様でした。実状としては、便器に他人の排泄物が残ったまま使用せざるを得なかったり、携帯トイレが配布された後も絶対数が不足し、1つの袋を数人で使ってから封をしていました。そのような状況では、臭いは当然、衛生管理上も問題があり、トイレを我慢したり回数を減らすために摂水摂食を控えるなど、災害関連死につながるような重大な健康問題を生起させます。



マンホールトイレ

熊本地震での調査では、回答者195人のうち、**発災後3時間以内**にトイレに行きたくなった人の割合は**39%**、**6時間以内**を合わせると**73%**だったそうです。

生理現象である排泄は我慢することができませんので、食料備蓄と同様に携帯トイレなどを最低3日分、できれば1週間分（一般的に1日あたり5回／人）を準備しましょう。

水防月間（５月）

今月は、国土交通省が定める「水防月間」です。いざという時のために防災マップで自宅などの水害リスクと避難場所を確認していただければ幸いです。

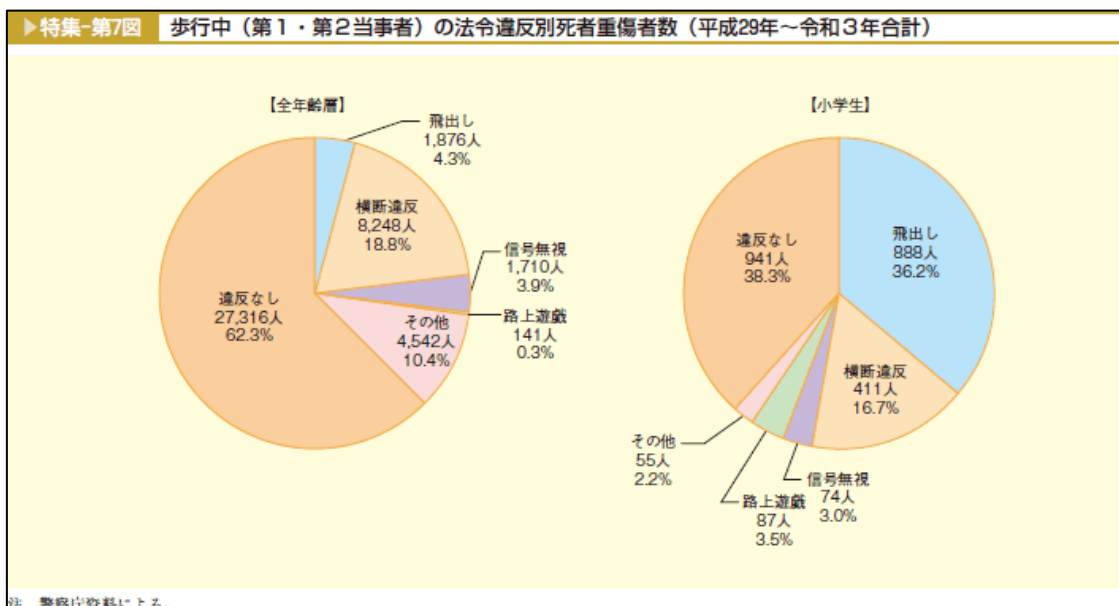
新居浜市総合防災マップ

→ <https://www.city.niihama.lg.jp/site/bousai/boumap.html>

小学生の交通事故

警察庁の平成29年から令和3年の歩行中の小学生の月別死者重傷者数の資料をみると、4月から6月にかけて増加傾向です。そして、学年別の年間合計では小学1、2年生がほぼ同数で多く、以降学齢が上がるにつれて減少し、小学1年生の数は小学6年生に比して約3.7倍です。

また、同期間の時間帯別の死者重傷者数は、下校時間帯でもある14時から17時台が突出して多い状況で、時間帯を限定しない死者重傷者の法令違反で最も多いのが「飛び出し」で36.2%を占め、次いで横断違反、路上遊戯、信号無視の順です。子供は視野が狭いうえに夢中になると、急に友達がいるところへ走り出したり、見通しの悪い交差点で左右を確認することなく飛び出す傾向があります。



これらの事故の特徴から、小学生を守るためにできることについて

て、次の政府広報オンラインをご覧ください、**ご家庭や地域などで繰り返しご指導いただければ幸いです。**

政府広報オンライン

→ <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201804/1.html>

メイストーム（5月の嵐）

「メイストーム」は、4月から5月頃にかけて日本付近で低気圧が急速に発達して**広範囲に台風並みの暴風・強風をもたらし、災害を引き起こすことがある**もので、「春の嵐」とも呼ばれます。語源は、1954年5月に北海道で出漁中のサケ・マス漁船群約600隻が大時化に巻き込まれて409隻が遭難し、死者・行方不明者約400名という大惨事があり、その際に気象関係者が「メイストーム」と名付けたとされています。

天気予報などで「メイストーム」「春の嵐」などのキーワードを聞いたならば、台風と同様に、風が強くなる前に家の周囲やベランダに置いてある倒れやすいものなど（植木鉢、物干し竿、自転車など）は家の中に入れ、事前の備えをしておきましょう。詳しくは、次の政府広報オンラインをご覧ください。

政府広報オンライン

→ <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201304/2.html>

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

今年の母の日は、5月11日（日）です。母の日に贈る花の定番といえばカーネーション。でも実は、カーネーションは色によって花言葉が違うので、母の日にふさわしい色と、そうではない色がありますので調べてから贈られては如何でしょうか。

また、ある調査によると、母の日に贈られて最も嬉しかったのは「手紙、感謝の言葉」だそうです。

(N.O)